

私
家
版
で
す。
完
成
途
中
で
す。

放射能フリーの村から！

〇〇町の食品で 放射能に勝つ研究

各
自
で
研
究
し
て
く
だ
さ
い。

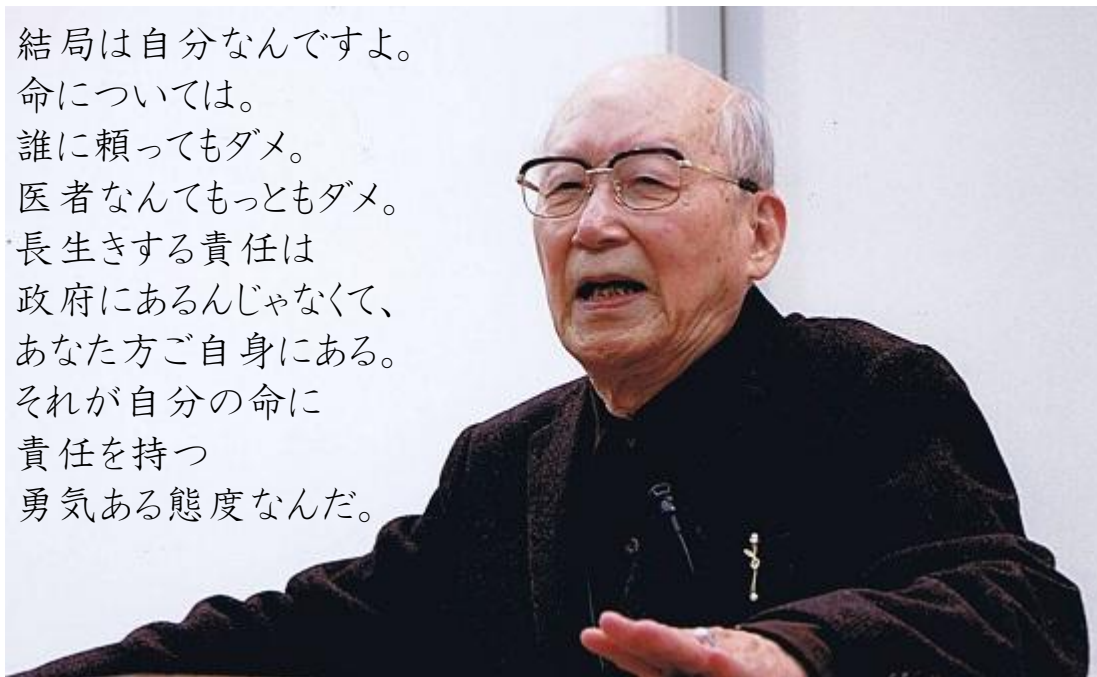
健康に子どもを成長させることは、
おおげさではなく
人類存続を懸けた大テーマです。
そこに気づいているかどうか
それを実践しているかどうか
5年先10年先の結果として出てきます。

移住者のための住居労働の受け皿だけでなく、
〇〇町を「放射能民間療法最前線」の町にしたい。
日本のどこにもない
世界のどこにもないことを
「新発想の研究会」にいけば共有できるんだ」というような
人類存続を懸けた研究を共有したいとおもいます。

〇〇町では、関東からの移住者と町民が
知恵を出し合って、放射能フリーの
健康生活を研究&創造しています。

福島原発事故から漏れつつける放射能。 人類は子孫継承の分水嶺に立っている。

結局は自分なんですよ。
命については。
誰に頼ってもダメ。
医者なんてもっともダメ。
長生きする責任は
政府にあるんじゃないくて、
あなた方ご自身にある。
それが自分の命に
責任を持つ
勇気ある態度なんだ。



肥田舜太郎医師

日本の医師、医学博士。広島市への原子爆弾投下により自身が被爆しつつ、直後から被爆者救援・治療にあたった。以来被爆者の診察を続け、被爆の実相を語りつつ核兵器廃絶を訴えている。被爆患者の臨床をふまえて、「原爆ぶらぶら病」とよばれる症状や、内部被曝、微量放射線・低線量被曝の健康影響について研究し、その危険性について述べた。のべ64年間、6000人を超える被爆者の診察を続け、2009年、医業から引退。

放射能対策食で最も基本になるのは、 じつは日本の伝統的な和食でした。

西欧医学では、被曝症状に対して症状の緩和的な対処をしますが、根本的に体内被曝した放射能を排出することはできないため、意識の高い人は陰陽や東洋医学、マクロビなどの観点から、自主的などりくみをする人が増えています。

食生活の改善は、いのちを守るための生命線です。



①海苔、わかめ、昆布を毎食摂取する。

体内をヨードで満たしておけば、被曝した際も、放射能がヨードと結びつき排出を促します。



②主食を玄米にする。

玄米に含まれる「フィチン酸」にはすぐれた解毒能力があります。**玄米常食者は熊本県水俣市においても「水俣病」にかからなかったことでも有名ですし、広島・長崎の爆心地から2km前後にいた方々も、原爆症にならなかったほどです。**



③味噌や納豆など大豆発酵食品を摂取する。

大豆発酵食品に含まれる「**ジビコリン酸**」はストロンチウム90などの放射性物質を体外に排出する効果があります。チェルノブイリ原発事故の後、日本から納豆や味噌が送られたのは有名です。

放射能を中和除去する食材として昆布、大豆、玄米、黒砂糖、お味噌、お豆腐などが良い。一方、小麦粉、牛乳、白砂糖製品は放射能中和除去の点では余り良くないようです。

陰陽からみた対策。 極陽性の食物、「黒焼」が持つ放射能中和パワー。

玄米をフライパンで煎ったもの(黒焼)を食べると放射能を体外にだす作用があります。保存性も高くて有効でしょう。

長崎に原爆が落ちた時に被ばくしながら原爆症にならなかったお医者さんがいます。彼はマクロビオテックを実践していて極陰の原爆に対して極陽の食品をとればいいという陰陽の理論から患者、救援隊の人に自然塩(精製塩は食べ物でない)をまぶした玄米おむすびと、しおからいわかめ入りの味噌汁を提供したそうです。

玄米を黒くなるまで炒ってできる玄米コーヒーはさらに極陽になります。また自然塩をさらさらになるまで炒るとこれもさらに極陽になります。玄米コーヒーを飲み、炒り自然塩をとれば、少ない量で皆と分けあえます。また携帯もできます。

放射線は極陰性なので、

梅干の黒焼き、玄米の黒焼き、ヨウ素を含む

食品などの極陽性の食品で中和されるそうです。

ヨウ素を多く含むものは、トコロや昆布、海藻類、寒天などです。

天然塩は、なぜ、放射能に対して有効なのか？

「爆弾をうけた人には天然塩がいい。玄米飯にうんと天然塩をつけてにぎるんだ。塩からい味噌汁をつかって毎日食べさせろ。そして、甘いものを避ける。砂糖は絶対にいかんぞ」

(秋月辰一郎著「死の同心円ー長崎被爆医師の記録」講談社刊・絶版)

1945年8月9日、長崎に原爆が投下された時にその爆心地から、たった1.8kmのところ、当時聖フランシスコ病院医長であった秋月辰一郎博士と病院関係者は全員被爆した。博士は焼けただれて痛がる人々に、「水を飲んではいかんぞ！」と大声でどなった。さらに博士は、次のように職員に命令したという。「爆弾をうけた人には天然塩がいい。玄米飯にうんと天然塩をつけてにぎるんだ。塩からい味噌汁をつかって毎日食べさせろ！」そして、甘いものを避ける。砂糖は絶対にいかんぞ」

「放射線宿酔」という症状がある。レントゲンを受けたあとに起こることがある全身の倦怠や頭痛などの症状のことだ。体験上、生理食塩水より少し多めの塩分を含んだ水を飲むとよいということをとっさにおもいだした。原爆の放射能から体をガードするには、塩が有効であることを推理したのだ。みそ汁の具は、カボチャであった。のちにわかめのみそ汁も多くとったらしい。砂糖を禁じたのは、砂糖は造血細胞に対する毒素であり、塩のナトリウムイオンは造血細胞に活力を与えるという、彼自身の食養医学によってである。

すると、どうであろう。そのとき患者の救助にあたったスタッフらに、**原爆症の症状が出なかった**のである。ふつうなら、しだいに原爆症の症状が出て、進行してしまうところなのに、彼らはそれからのち、**ずっと現実に生き延びている**のである。

天然塩は、なぜ、放射能に対して有効なのか？

(故)知花敏彦氏 (日本の今を考える会)
2001.5.28北海道(然別湖)講演より抜粋
"塩について!!"

* 昔のお味噌汁というものは放射能でさえも防いだんですよ。
広島では被爆していないグループがあった。
そこは病院で何を飲ましていました？
お味噌汁ですね。
味噌は塩の塊のようなものですから、
(*自然塩は)その被爆でさえも防ぐ効力を持つてることですよ。
それを味噌のせいになっているだけなんですよ。

* バランスの崩れた塩(精製塩)なんて食えば食うほど体調はおかしくなりますよ。
バランスが取れてる塩なら体調はよくなるけれども
バランスの取れてない塩なんてあなたを破壊し殺しますよって
ことです。
だから、塩分を取り過ぎてはいけないと言う訳ですよ。
しかし、自然塩なら取り過ぎるということはない訳です。
だから、お塩だけは選びましょう!

* **塩というものは中和剤だから。**
塩がなければ物は調和できない。
塩というものは化学的には結んではいけない物同志が仲良く
やってるんです。
塩の中では。
もう本当はそういう存在は有り得ないぐらいの敵対同志でも仲
良くやっているのが塩の結晶なんです。
しかも、それが上手く結びついて調和されて。

だから、本来は悪いものに塩をまくという習慣がございますけれども、
悪いものを追い払うという意味じゃないんです。
調和するという意味なんですよ。
お祓いじゃないんですよ。
中和剤ですから、お祓いである筈がないんですね。

じゃ、お塩がなくては皆さん方は食事はできませんよね。
味付けは何でやります？
塩ですよ。
中和剤ですから酸っぱいものとか甘味のないスイカなんてお塩
をかけるとどうなります？
(甘くなります)。あつ!そう。

* それはね、聖書にもこう書いてあるんですよ。
世の何になりなさいと書いてある？
(塩となりなさい)。
塩は何とでも調和するので塩のように、私たちはみんな仲良く
やりなさいと。
だから、塩というものは縁起物ですよ。
何とでも調和しますから。

だから、あなたも何とでもいい人とも悪い人とも調和されてるなら
世の塩となるんですよ。
(略)"世の塩となりなさい!"というのはその意味なんですよ。
愛でありなさい、調和でありなさい、という意味なんですよ。

天然塩は、なぜ、放射能に対して有効なのか？

(故)知花敏彦氏 (日本の今を考える会)
2001.5.28北海道(然別湖)講演より抜粋
"塩について!!"

魔物をお祓いするというもんじゃないんですよ、塩をまくというのは。
調和しなさいという意味であって悪い物をお祓いしなさいという意味じゃないんですよ。

だから、皆さん方の本当の健康にも塩というのは不可欠なものなんですよ。
塩を、もちろん、取り過ぎでもいけない。
何で取り過ぎてはいけないかという日本での塩に対する判断基準、化学基準が非常に間違っているから。
99.99%が(塩化)ナトリウムという。
どこで誰が決めたか解らないのに、それが塩だと嘘をつくようになったんですよ。
昔の海塩、海の海水から取る塩はそんなものじゃないんですよ自然塩ですから。

自然塩をみんな馬鹿げた塩にしてしまってナトリウム99.99%という基準を設けたんですね。
だから世の中をみんな破壊しますよと、そのナトリウムで。

じゃ、自然塩と今の政府が基準している塩とどっちがいいの??

* 今の塩を食べると死にますよってことなんですよ。
現に病気になってるんじゃないですか!
今の塩を食うことによってなってますよね!

• 塩が狂ったおかげで世の中に病気が流行った。
病気が流行ったお陰で医者が儲けたということだけなんですよ。
意味解りますか?
それは塩が欠点(=>欠陥塩)なんですよ。解りますか?

* 皆さん方、お味噌汁とか言いますけれども、
お味噌汁というのは塩分が入ってるから(お味噌汁)なんですよ。
昔のお味噌汁というものは放射能でさえも防いだんですよ。

広島では被爆していないグループがあった。
そこは病院で何を飲ましていました?
お味噌汁ですね。その被爆でさえも防ぐ効力を持ってるってことですよ。
その当時、不自然な塩だったんでしょうか?
自然塩だったと思いますでしょうか?
自然塩だったということですよ。
それを、お味噌のせいにしていただけなんですよ。
味噌は塩の塊のようなものですから。
わかりますね!

味噌汁が、放射能に対して有効な理由。

「味噌」が実に大切である。「この一部の防衛が人間の生死の境において極めて重要なのである」
(秋月辰一郎著「体質と食物」クリエー出版部刊)

博士の書いた「長崎原爆体験記」(日本図書刊行センター刊「日本の原爆記録」第9巻に所収)という本の英訳版が欧米で出まわり、**チェルノブイリ原発事故のあと、ヨーロッパで日本の「味噌」がとぶように売れた**ということはあまり知られていない。
(中略)

秋月博士は、「体質医学」の大切さを主張し、次のようにいっている。

「それは、人間の体質を作り変えることが医学の本然の姿であるという信念による。人間の体質を作り変えて、病気にかからなくてすむ身体、また病気にかかっても軽くて治る身体になることである。また、慢性疾患に罹患していても、体質を変えていつの間にか病気が離れる身体になる、この医学である。」
(「体質と食物」)

現代西洋医学は、すべて人を平均化して対症療法で処方する方法ばかりにとらわれているので、個人の「体質」の違い、「体質」の強さに対しては、まったく盲目に近いといえます。

口から入るもの(飲食)が、一番身体内部に直接影響を与える外部からの環境因子になりますから、たしかに、身体の体液環境を守りうる要因にはなりうるのです。

毎日、ハンバーガーなどのジャンクフードや、牛丼、コンビニで買った食品添加物山盛りのレトルト食品ばかりで食事をすませている、外食で、焼肉やおいしいグルメの食べ歩きばかりしていて、さらには、とくにソフトドリンクや甘いものには目がないときたら、そういう人たちは、放射能汚染によって被曝でもしたら、原爆症になりやすい。

ただし、インスタントの味噌汁、あまり効果は期待できません。**化学的な食品添加物が一切加えられていない「無添加の本物の自然醸造の味噌」をつかった味噌汁ならば、非常に強い薬効が期待できます。**そういう「本物の良質の味噌を使った味噌汁」を毎日1回以上必ずとるよう心がけると、「未病を治す」という言葉があるように、非常に効果的な病気の予防になります。

日本の伝統食や伝統的発酵食品の知られざる底力は、世界保健機関WHOでも高く評価されている。

味噌の機能性のひとつに、「放射性物質の除去作用」があります。これは以前から注目されており、チェルノブイリの事故の際には、ヨーロッパ向けの味噌の輸出が急増したりしました。

広島大学原爆放射能医学研究所の伊藤明弘教授(平成11年当時)の研究でも、動物実験による味噌による放射性物質の除去作用の効果が報告されています。この実験で使われた放射性物質は「ヨウ素131」と「セシウム134」です。

大豆由来成分、あるいは発酵による成分などによる効能と思われます。

日頃から日常的に味噌を食べている、味噌汁を飲んでいる、ということが良いとされています。

では、食べてはいけないものは何か？

●砂糖は造血活動を阻害するので食べないようにしましょう。

●動物肉や牛乳は放射線を生物連鎖で濃縮している
ので、食べないようにしましょう。

■「放射性物質を除去する浄水器」の作り方

首都圏の水道水が汚染されている。
新野においては、空間線量は低いですが、それでもセシウムをはじめ放射能は舞い降りている。
浄水器を自作しての水の浄化方法を考える。

1. **竹炭**※を布で包んでトンカチで叩いて粉にする。5mm以下の粒子にする。
2. 竹炭の粉を、直径100mmの塩ビ管(長さ1.5m)に詰める。
3. 光合成細菌液か**酵母液***を2リットル位流しこむ。
4. 2時間後、放射能水を注いで濾過する。
5. すると、放射能が完璧にとれた浄水が出てくる。

※**竹炭**は放射性物質を吸着するだけでなく、光合成細菌と組み合わせると、セシウムをバリウムやキセノン(安定同位体)に「原子転換」させる「触媒」のような働きをします。

竹炭は、放射性物質を吸収する最適素材だ。
竹炭があれば、ヒジョーに簡単に「放射性物質を除去する浄水器」が作れる。

*酵母液の作り方

- ①無農薬朝摘み野菜果物山菜雑草(鮮度の良い物。青臭いもの。青臭いほど発酵の促進剤となる酵素が多い)
泥だけはらい、洗わない。素材についてる乳酸菌が洗い流されてもったいない。
- ②500ミリリットルで純黒糖大さじてんこ盛り1、天然塩小さじ1/2
- ③素材と水の割合は1:5くらい。素材の味を楽しみたいなら多くて良い。
- ④ビニール袋に水を入れ、重しをする。素材が空気に直接触れなければOK

これを、煮沸したビンに放り込み、紙のふたをし、暖かいくらい所に放置！
時々かき混ぜさらに空気を送り込み酵母を増殖させる。
3日くらいでぶくぶくしてきたら、紙で濾して中身を取る。
その時、決して絞ってはいけない。カスや油分で液体がにごる。

一応このときPHを計る。
PHが3.5以下の強酸になっていけば、人間にとって良くない菌は、食われて消滅している。
だから洗わなくても大丈夫なのらあ。
取り出した素材は腐っているわけではない。
見てくれ悪くても、食ってみようwww
こわがるな！それでも大和なでしこかつw
発したガスでビンが割れないように、
ガスが自然に抜けるように、ふたは軽く閉める。
時々ふたを開け新鮮な空気をいれ、振る。

時々、水、純黒糖、塩を上記の割合で足していくと、
延々と天然酵母ジュースが出来ます。
風味は薄れていくけど、天然酵母は増え続けますー。

■天然酵母あれこれ記事一覧 ↓

放射能用浄水器の作り方

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/>

放射能の浄水とは

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-1133.html>

グルンバ発酵菌は医療の現場でも活躍！

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/>

グルンバ発酵菌のコストは、千分の壱！

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-1127.html>

うんこ(放射性物質)を食べる光合成細菌

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-1062.html#comment4228>

放射能には乳酸菌♪

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-982.html>

乳酸菌事業グルンバってなに？

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-863.html>

インフルには乳酸菌だ！！

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-955.html>

天然酵母の作り方

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-852.html>

天然酵母のすすめ

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-789.html>

EM菌で膾洗浄・子宮頸がんも消える？汚染ワクチン撲滅だwパート2

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-653.html>

野菜の皮が大活躍

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-520.html>

ガンは治る！末期癌でも治る！免疫賦活で速やかに治る！

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-486.html>

癌もアトピーも花粉症も乳酸菌で

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-411.html>

ドクダミとよもぎの天然酵母

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-309.html>

天然酵母を飲んでみた

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-301.html>

天然酵母に包まれよう

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-287.html>

天然酵母の培養

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-281.html>

微生物の威力だー

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-264.html>

よし、ドクダミも醗酵させてやれ

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-122.html>

おそろべしよもぎ菌

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-119.html>

ヨモギの天然酵母

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-99.html>

地球と体に良い事一覧

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-14.html>

EM菌で水虫を抹殺しろ

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/category4-1.html>

ヘナとEM菌と白髪染め

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/category4-2.html>

天恵緑汁のつくり方

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-1073.html>

健康的保存食大国日本

<http://kinokokumi.blog13.fc2.com/blog-entry-1078.html>

■ヨモギ乳酸菌づくり

■自立・自発・自尊の有志は、放射能浄化の闘いを開始する。武器は、乳酸菌・酵母・光合成細菌・放線菌等々の発酵系微生物である。発酵菌群は、ヨモギ葉、茶葉、葛ヅルなど爆発成長点を持つ植物から採取する。

使う材料の目安は...

ヨモギ葉: 10kg

黒糖蜜: 4kg(40%)

粗塩: 200g(黒糖蜜の5%)

ニガリ: 10cc(なくてもよい)

以上.

手順

- (1)早朝、ヨモギやハコベを摘む。
- (2)摘んだ蓬葉に粗塩とニガリをふりながら、良く混ぜる
- (3)黒糖蜜を振りかけ、丁寧に良く混ぜる
- (4)粗塩を振りかけながら、やさしく丹念に良く混ぜる
- (5)混ぜ終わったら、平らにならし、重しを乗せる
- (6)新聞紙(朝日新聞は駄目)で覆って保管。1週間後漬け物汁を瓶詰め

ヨモギの効能など

- [PDF]よもぎ通信<http://members.e-omi.ne.jp/okamoto/yumepuran/kankyoyomogi/yomogi-01.pdf>
- 生ヨモギの味噌汁<http://www.ruralnet.or.jp/gn/200805/kant.htm>
- [PDF]活用法<http://www.shiga-u.ac.jp/ela/pdf/2007-0126-05.pdf>
- <ヨモギ発酵液の作り方> http://chocomint2.cocolog-nifty.com/blog/2007/10/post_f892.html
- 「よもぎ発酵液」の使用方法和効果 <http://members.e-omi.ne.jp/okamoto/yumepuran/kankyoyomogi/yomogi01.htm>
- よもぎ黒酢の作り方 <http://members.e-omi.ne.jp/okamoto/yumepuran/kankyoyomogi/yomogi.htm>

ヨモギ葉の代わりに、茶葉、ハコベ、芋づる、葛づる、**竹の子**など爆発成長点を持つ植物の葉を摘んでもいいです。

爆発成長点では、芋づるや葛づるのように、夜間、爆発的に芽が伸びます。

この爆発的な成長には、不可思議なエネルギーをもつ微生物が関与しています。

摘む時間は、日の出前から、日の出1時間後までです。

早朝のヨモギ葉の表面には、1平方センチあたり数十万個の発酵菌がいます。

太陽が出ると、光合成作用(炭酸同化作用)が始まり、菌は萎縮してしまいます。

夜間は、光合成作用が止まり、理化作用が始まり、葉に棲む菌が爆発的に増殖し、日の出直前に頂点に達します。この時の葉を摘んで下さい。

発酵菌(乳酸菌や光合成細菌)をたっぷり含んだ漬け物が出来上がったら...、漬け物汁を「拡大培養」していきます。

■ 『光合成細菌 & 乳酸菌』が放射能を食べる！？

■ 人間には猛毒の放射能も、微生物には生きる活力！

◆ 微生物にとっては紫外線も放射線も同じエネルギー

放射能で汚染された関東平野を浄化する作戦！

この主役は、『光合成細菌 & 乳酸菌』だ。

<http://blogs.yahoo.co.jp/m2010matu/62330771.html>

約40億年前、地球上に生命が誕生した。その頃の地球は“地獄”だった。
地球の表面温度は200℃以上、原始大気に酸素はなく、硫化水素と炭酸ガスが 充満していた。

空からは、強烈な放射線と紫外線が降り注いでいて...、“地獄”だった。

この“地獄”のなかで、**地球最初の原始生命体**は、誕生したのだ。

そして...

この原始生命体のエネルギー源は、なんと！**放射線や紫外線**だった。

放射線や紫外線をエネルギー源として摂取する

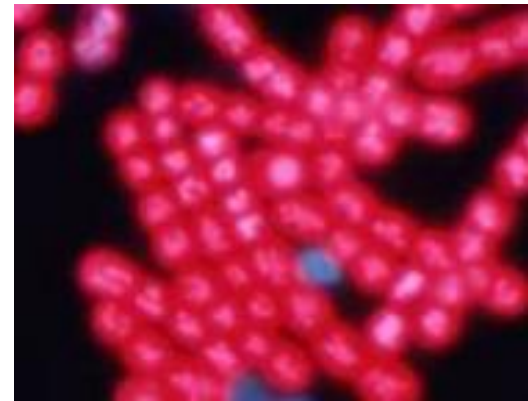
原始生命体＝微生物の子孫こそ、

私が、いま、可愛がって育てている大量の

『光合成細菌』なのである。

<http://grnba.secret.jp/iiyama/hikari.html>

光合成細菌(こうごうせいさいきん)は、広義には光合成を行う真正細菌の総称であるが、シアノバクテリアを除く酸素非発生型光合成をする細菌の総称として使われることが多い。



チェルノブイリ奇跡の泉をもたらせた 祈りのチカラとは何か？

●砂糖は造血活動を阻害するので食べないようにしましょう。

●動物肉や牛乳は放射線を生物連鎖で濃縮しているので、食べないようにしましょう。

自分の遺伝子を守る思いは、生かされていることへの感謝です。

“今さら”恐れずに、自分や縁ある人々が「生かされている」感謝を思う感謝想起が一番に重要だと感じます。

恐れる時間は、短い人生には損です。

感謝の気持ちは、放射能の汚染にも絶対に負けません。

1. 人間も人生も、自然界をも陰で支配するのは、粘菌(ねんきん)という善玉菌であること。菌には、心の思いが反射するということ。

体内で善玉菌を育てる最善の方法は、森を持つ神社に感謝を捧げることが最短であることを熊楠は示唆しました。

(神社保護の活動のために、昭和天皇に愛された熊楠が逮捕までされています)

腸内の善玉菌が、内部被曝した放射能の分解に大きな役目をすると感じます。

神社に行けなくても、普段の生活の中で、“自分たちが生かされている感謝を思うこと”が、放射能の分解に関係するということです。

◆ 飢饉を生き延びる方法

天明・天保の大飢饉の頃。飢えを凌ぐ為に
雑草から木の皮まで食べ付くし、果ては土まで喰った。
大本教の霊界物語には、神のお告げによって土は食べれるとあります。

【土粥(がゆ)】

五穀全て尽きても土がゆあり。
土は、どのような土にてもよし。

土一升(1.8ℓ)に水四升を入れ、
桶でよくかき混ぜ上の水をとる。
これを何度も繰り返す、そして、また
水を四升入れてよくかき混ぜ、
別の桶に入れて底に残る砂、石を
とり、また水に浸しておくこと三日間。
その間に一日三回ずつ上水を替える。
このようにした土に今度は、水を三
升入れ煮れば「土がゆ」が出来る。

つまり、土に含まれている栄養を採
取して食す。
これ、飢饉に生き延びる秘法なり。

【土粥鍋(つちがゆなべ)】

上記に、出し汁や塩を加えたり、野菜を足したりして鍋として食されている。

【土粥腐葉土バージョン】

腐葉土がよいとされる。

土と水を1:1でかき混ぜ沈殿するの
を待ち水を捨てる。

その研いだ土に水を加えかき混ぜ
今度は上水を取り置き沸騰させる。

すると水の中の有機成分(ミネラ
ル)があくとして出てくるのでこれを
食べる。(こちらは土は食べない)



弟子「米の貯えがあとわずかです」
道元「粥にすればよい」
弟子「粥にするほどありません」
道元「では、おもゆにすればよい」
弟子「おもゆにするほどありません」
道元「(微笑みながら)さゆを飲めばよい」

曹洞宗をひらき、
永平寺の開祖となった道元禅師

豊かな心とは、無い時は無いように生きることを楽
しみ、有る時は有るように楽しんで、それにこだわら
ず、いつも生々澁刺とした気分で一日を暮らせるこ
とだ。無くて困り、有って困って、持たない為に陰
気になり、持って、その番をして気が苛立つ人は、
どうしても豊かとはいえない。野口晴哉

◆「さつまいものツル」を食す

芋ツルは戦時中、貴重な食材だった。
食するのは、サツマイモの葉っぱの部分の茎。

<芋のつるのキンピラ>

芋のつる	ひとつかみ
ごま油	大さじ1
みりん	大さじ1
しょうゆ	大さじ1
砂糖	小さじ1/2
ゴマ	少々
重曹	小さじ1

・作り方

- ①サツマイモのつるは、葉を取って3~4cmくらいの長さに切る。
- ②鍋にサツマイモのつるがかぶるくらいの水を入れ、重曹を入れて沸騰させる。つるを入れて、もう一度にたったら、つるをザルに上げる。
- ③フライパンにごま油を入れて熱し、芋のツルを炒める。調味料を加えて、全体にまわったら、火を止める。
- ④お皿に盛り付け、ゴマを振ったらできあがり。

* 芋のつるといのは、サツマイモの葉っぱの茎のこと。芋の収穫時だけに食べられる、旬の味だ。



◆動物性タンパク質を摂る方法

■ミミズをたべる

ミミズは、土ごと餌を摂取している
ので消化器官の中には土が大量
に入っています。これを取り除か
ないと土の匂いや味で不味くなっ
てしまうのです。

調理の前には、ミミズの身体を頭
から尾に向かってしごいて土を出
させるか、縦に割って土を出すか
して水にさらしておきましょう。

■ミミズの調理

食用ミミズは、癖がなければ風味
もほとんど無いのでニンニクや
ショウガで風味付けと匂い消しを
する必要があります。

サラダなどに盛り付ける場合は、
ショウガを摩り下ろしたものに漬
け込んで匂いをとり、お湯でさつと
茹で上げて使います。ニンニクと
一緒に炒めるとさまざまな料理に
使えますが、ニンニクの匂いが気
になる人はネギなどで代用しても
構いません。

蛋白質をすごい含有しています。

◆植物野菜の長期保存方法

電気が途絶したら冷蔵庫なんか使えなくなりますから、天日、乾燥、おつけものとか、保存術がたいせつになるでしょう。

手に入る食材にムラができるでしょうから、手に入る機会があれば、乾燥保存でしょうね。

★サツマイモ、ジャガイモの保存

レンジでチンして天日で堅くなるまで干す。

飯、野菜も同様に。野菜は扇風機で乾燥させる パリパリに。

保存はチャック付きビニール袋二重で、乾燥剤をいれること。

★天日乾燥で栄養が増す

かきかけ

◆野草が放射能の排出に役立った。

ある被爆者の方の体験談です。

投稿者：なうしか 投稿日：2011年07月20日(水)22時56分

先日、薬草の時間に先生からお聞きした ある広島原爆被爆者の方の話です。

その日、泥んこ遊びの最中、
被爆地から2k程の近郊地での被爆。

全身の被爆で、顔も全身も焼けただれ、動く事も出来ない程の激痛。

何もかも焼けつくされ、親も兄弟も失い、食べ物も何も無く、
唯一生え残っていた **<ヨモギ>**
被爆直後の土地に 強靱な生命力。

その後、**<スギナ>** が。

やがていろんな野草も含め、それだけでの食生活が続いたそうです。

宿便でしょうか。
真っ黒い便が一ヶ月も続き、やがて
驚くほどの回復を示したそうです。

そして、**その野草を食べた人達(ひどい被爆状態だった人達)**
そのほとんどの方々が生き延びたそうです。

その方は現在72歳。**今でも野草を食しておられるそうです。**
そして、
「発表される放射線量など、問題ではない。」と。

世界中の放射能もれは、ずっと以前から続いています。避けようもなく。
細分化された闇の世界への否定意識でなく、
素直に迎え入れ、
今、自然に還る。大自然＝神の世界。
体内、対外を含め、多くのイノチと共に。
その転換の時を与えて頂いているのだと思っています。



<ヨモギ>

<スギナ>



どくだみ

◆肺に吸い込んでしまった放射能を出す方法は？

乳酸菌噴霧が最適！

肺に吸い込んでしまった放射性のチリ. これを取り除く方法は, 噴霧器を使って乳酸菌液(米のとぎ汁)を吸込み, 痰(タン)として出す！

たしかに痰(タン)の線量を測ると出るのが分かる。
放射能. 騙されたと思ってやってみな, 米のとぎ汁！

◆被爆症状に効果があるラジウム石。

○何故癌や病気が治ったり、有害物質が分解されるのか。

ここで「放射線の作用」について説明します。

ラジウム鉱石から発せられる「放射線」は微量なものですが、その影響は膨大なものなのです。

薬石から出る放射線は「α線」と「β線」がありますが、その両方の特性

放射線と言うと「原爆」や「原発」を思いおこしますが、ここで言う放射線とは自然界に存在し

ません。大体両方ともにた様な効果なので、分類しないで放射線とし

ている微量の放射線のことです。太陽や宇宙からこれらの放射線が常に地上に降ってきてます。

説明いたします。

私達に有害な放射線は、地球を取り巻く「電離層」でシャットアウトされて、有益なものだけが地上に降り注いでます。

放射線とは光より更に波長の短い電磁波です。物質が核分裂した時に発生します。そのため放射線

太陽の光線だって放射線の一種で、波長の低い部分の「光波長」なのです。

作用があるのです。

私達地球の生命体はこの放射線によって「生命活動」が維持されて

具体的には、物質を構成する化学結合の中で、炭素が鎖状に横に長く結合している物質と、炭素が環状

いるのです。自然の放射線が

の六角型で結合されている「ベンゼン核」を含む構造とがあります。

変化すると、生命活動が異常をきたし、病気になってしまいます。放射線が私達の体の健康を

放射線を受けるとこの環状結合が外れて鎖状になります。それで物質

守っているのです。有害な物質は分解し、有害な細胞は破壊する。この自然の放射線による私達の体の健康維持の事を私達は「自然治癒力」と呼んでいるのです。

が変化してしまうのです。

いかなる病気も、医者には治せません。治療をするだけなのです。病

この地球上で、生物が生命活動で生成する物質は殆どが「鎖状結

気の根本的な改善は「自然

晶」になってます。これを自然物質と

治癒力」に頼るしかないのです。

呼んでます。

癌であっても医療で出来る事は、手術によって「癌細胞」を除去するだけです。「癌細胞」の出来

一方、石油等の無機物から化学的に合成された物質は殆どが「環状

るメカニズムについては自身の「自然治癒力」で対処する以外にありません。

構造で成り立っているからです。これを人工物と呼んでいます。

そのためラジウム鉱石によって「放射線」を体に当てると言う事は、

この人工物が食品等により、体内に取り込まれると、「環状組織」を

自然治癒力」を高める事なの

持ったタンパク質による異常細胞

です。だから色々な病気が治るのです。

から成ってます。この異常細胞が

「癌細胞」なのです。

だから「発ガン物質」と言われているものは全て人工の石油等から

作った合成物質で「環状構造」を持つ

ているのです。

◆被爆症状に効果があるラジウム石。

ここで、癌に侵された体に「放射線」を当てるとどうなるでしょうか。

「環状構造」が破壊されますので、「癌細胞」は破壊されます。

一方、正常な細胞は「鎖状構造」のタンパク質の細胞なので、何の**変**化もありません。

このようにして、「癌の治療」は行われているのです。

一般的に病院の放射線治療は「人工的な強い放射線」をスポットで**ま**いりました。ご本人はガッカリ短時間照射します。

薬石を使用する場合は「自然の微弱な放射線」を長時間当てますと**ど**ろが切り開いてみると、「死んだ癌細胞」だったのです。癌は治つちらが安全かはお分かりでしょう。

薬石ならば副作用は全くありません。

2、癌にはどのように使用すればいいのか。

ここで癌を克服された方の2例を紹介します。
癌は今はやりの乳がんです。

実例-1

乳がんの手術後、癌が再発した上に全身に転移してしまった方。

相談に来られたときは再発してしまった癌は左右に5ミリくらいの大きさに**4**個で**ま**いりました。全身の

リンパに転移して、医者は「様子見」と言うかたちで、治療してませんでした。

大きめの姫川薬石をお渡ししたら、その場で変化が現れました。全身のリンパが痺れだしたのです。

ご本人は喜んで薬石を持ち帰り、患部に当てたり、お風呂に入れて入浴する事3週間。

病院の検査で5ミリ程の再発した癌は全て無くなり、完治しました。

乳がんの手術後、再発を恐れて薬石を毎日患部に当ててました。そしたら2週間後、その当てていた所に「癌が再発した」と診断されて**ま**いりました。ご本人はガッカリです。

「死んだ癌細胞」だったのです。癌は治つていたのです。MRIに死んだ

癌細胞が写っただけだったのです。

これは癌が再発したのが、薬石によって壊してしまったからだ、ご本人と紹介された方共々「大喜び」でした。

この様にラジウム石は、は癌細胞を破壊する力があります。それもかなり短時間で。

使用法としては大きめの「姫川薬石」を患部にいつも当てておく事と、お風呂に入れて「ラドンガス」を

吸って、他に転移したものも破壊する様にして下さい。

◆被爆症状に効果があるラジウム石。

橋高さんはラジウム石の最も効果的な使用法は、お風呂に入ることだと断言されています。

日本では玉川温泉の北投石がラジウム石としては有名ですが、現在は採掘が禁止されている

ため金より高価で1gで3000円もします。

また、オーストリア産の有名なバドガシュタイン石も1kgで10万円もします。

しかし、何もこんな高価なラジウム石を使う必要はありません。

国内産では糸魚川産の「姫川薬石」などは、地元のお土産屋さんで原石1～2Kgがわずか1000円で

売られています。

三重地方で算出する「伊勢砂利」もラジウム石です。

また、生産量はわずかですが希少品である新潟県産の「村杉温泉ラジウム薬師石」も1万円以下で

購入できます。

また、各地で拾える御影石などの「花崗岩」もラジウム石です。どうしても自然の石を拾えない

方は、各地のホームセンターのガーデニングコーナーで売られているキロ当たり95円程度の「花崗岩」

を風呂に入れて入浴すれば効果が得られます。出来るだけ大きめの2～3Kgの石を使用してください。小さめの石を同量お風呂にいれても大丈夫です。

どうかこのような効果があるラジウム石で、早急に被爆対策をお勧めします。5～10年後に起る悲惨

な状況を防ぐには、この方法しかありません。

◆被曝対策としての粘土食。

ケイ・ミズモリ氏の「粘土食」

●被曝対策としての粘土食

<http://www.keimizumori.com/articles/clayeating2.html>

●身体を浄化する驚異の粘土食

<http://www.keimizumori.com/articles/clayeating.html>

人類には古代から土を食べる文化があったこと、また米国では宇宙での高い放射能にさらされる宇宙飛行士にサプリメントとして飲ませてることを紹介しています。

また無重力状態の中でどうしても骨密度が低下してしまう対策にもなってるようです。

「日月の神示」の中にもあるのですが、土の中には食べられる土と薬になる土があると書いてあります。

土(モンモリロナイト)が放射能や重金属を排出する能力が有るのなら:これは国民にとって希望だと思います。

実は、宇宙飛行士は、様々な宇宙線(中性子)に被曝している現実がある。地上の我々は地球を包み込む大気によって守られているが、宇宙飛行士は無防備である。宇宙線は、スペース・シャトルのような機体を貫通し、人体に到達する。そのような環境に居ることが、身体の機能を損ね、ミネラル吸収を阻害しているとも言えるのだ。

そう考えると、原発現場の作業員に安定ヨウ素剤を与えるのと同じ理屈が成り立ち、NASAは宇宙飛行士の被曝対策に粘土をサプリメントとして与えたと言い換えることができるのだ。

ー放射線に曝されると、必須元素であるヨウ素の吸収が阻害されるために、安定ヨウ素剤が必要とされる。

ー放射線に曝されると、必須元素であるカルシウムの吸収が阻害されるために、カルシウム・モンモリロナイトが必要とされる。

つまり、1960年代前半、NASAは自覚できていたのかどうかは不明ではあるが、放射線被曝対策に食用可能なカルシウム・モンモリロナイトを見出していたと言える。

○食用粘土の利点

それでは、可能な除染に関して触れることにする。内部被曝した際、体内に残留した放射性物質は速やかに排泄されねばならない。汚染された水道水の浄化のために、活性炭の効果も注目された。というのも、活性炭は多孔質の物質で、その微細な穴(細孔)に多くの物質を吸着させる性質があるからだ。放射性物質が付着したものをそれがいくらか取り除いてくれると考えられている。

では、そのような性質を利用すれば良いと言えそうだが、モンモリロナイトには活性炭のような性質は持ち合わせているのだろうか？

◆被曝対策としての粘土食。

実は、モンモリロナイトは吸着性と吸収性の双方に優れた粘土であることが分かっている。モンモリロナイト粒子は強くマイナス電荷を帯びた珪酸塩(薄く平たい結晶)コロイドを形成している一方で、人体にとって有害な毒素の多くがプラスに帯電しているため、それが安定的な吸着効果を促す。

また、吸収性に関しては、次のような例で明解と言えるだろう。1辺が1cmの立方体の表面積は6平方センチメートルだが、1gのモンモリロナイトの表面積は60平方メートルにも及ぶ。そのため、粘土粒子が濡れると、水分を周囲の不純物とともに大量に「吸収」し、大きく膨張していく。モンモリロナイト(スメクタイト)の吸収性は、イライトやカオリン、ゼオライトのような他の粘土よりも高いことが分かっている。

そのため、モンモリロナイトを経口摂取することで、体内の有害物質を吸着・吸収して、摂取した粘土粒子ごと排泄されると考えられている(食物に含まれる栄養分も吸収してしまう可能性があるため、食間の摂取が望ましい)。だが、これは、あくまでも吸着・吸収して排泄するという面だけのことである。さらに、モンモリロナイトには、安定ヨウ素剤のメカニズムのように、必須元素の欠乏を補う作用があり、50種類以上ものミネラルと微量元素を補給しえる。

これまでのところ、原発事故によってストロンチウム90が飛散しているとは耳にしていないが、原発現場でベータ線熱傷を受けた作業員は被曝していた可能性は考えられる。放射性的のヨウ素やセシウムと比較すると、発生量は少ないが、厄介な物質である。だが、経口摂取による対策がない訳ではない。

概して、被曝対策にはミネラルと微量元素の摂取が重要であり、不足しているほど被曝の影響は深刻になると言われている。例えば、『ニューイングランド・ジャーナル・オブ・メディシン』誌では、カルシウムやマグネシウムが前がん性細胞を抑制し、ストロンチウム90他、他の放射性同位体の影響を抑えられうると報告している。もちろん、カルシウムのような効率的な吸収の難しい必須元素に対して、カルシウム・モンモリロナイトが有効だったことは、NASAが実証済みである。また、微量元素のヨウ素は、海藻類に多く含まれるが、実は、カルシウム・モンモリロナイトにも、量は少ないものの、含まれているのだ。

このようなことから、カルシウム・モンモリロナイトは、一つで二役を果たすことが分かる。つまり、放射性物質を含めた有害物質の除去作用と、被曝によって不足するミネラル・微量元素の補給作用である。もちろん、高濃度の放射能汚染に対してまで即効性を示すようなデータはなく、あくまでも継続的な摂取によって、そのいくらかを補助する程度と思われる。だが、何か特別な薬剤を用意することなく、天然の健康食品(粘土)が放射能対策に応用し得るとしたら、それは注目に値する。

近畿大の山崎秀夫教授(環境解析学)

「セシウムは土に含まれる微粒子と結合し、離れにくい。貝が泥を食べても、泥とくっついたセシウムが貝の体内で溶け出さずそのまま排出される」と説明している。

これは山崎秀夫教授(環境解析学)が昨年8~12月に実施した調査。荒川河口の泥から1キロあたり300~900ベクレルという放射性セシウムが測定されたことに言及したコメントですが、注目は「セシウムは土に含まれる微粒子と結合し、離れにくい。」ということ。

つまり、モンモリロナイトを摂取することで体内のセシウムが泥とくっつき、セシウムが人間の体内で溶け出さずそのまま排出される」ということが言える。モンモリロナイトはスキンケア用に数百円から販売されているようです。

◆火による浄化・・・毒を打ち負かす ヴェーダの手法。

「アグニホットラ(Agnihotra)..世界に知られるようになったきっかけ」

そもそこの“アグニホットラ”なるものが世界的に有名になったのは、インドのボパール(Bhopal)と言う所で1984年12月3日深夜に起こった世界最悪の化学工場事故がきっかけだそうです。殺虫剤を生産していた化学工場有毒ガスが漏れ、最終的には1万5千人から2万人が死亡したと伝えられ、今なお後遺症で苦しむ人がある大惨事だったそうです。

この事故については詳しくはウィキペディア「ボパール化学工場事故」に載っていますのでご興味おありの方は、ご覧になって下さい。

その大惨事の中、ひどい被害を受けた地域に居た2家族だけは誰も死なず、病院に行く必要もなく、現在も生存されているそうです。

この2家族に共通していたことは毎日“アグニホットラ”をしていたということでした。

この奇跡に世界中が注目し、アグニホットラについての科学的な検証が始まったそうです。このニュースは“The Hindu (ザ・ヒンドゥー)”と言う、インドの大手新聞の1985年5月4日付に‘Vedic Way to Beat Pollution (毒を打ち負かす ヴェーダの手法)’という記事に載ったそうです。事故を起こしたアメリカカウエストバージニアにある親会社はこのアグニホットラの効果を研究すべく巨額の寄付を出して、ウエストバージニア大学に研究を依頼したそうです。

ドイツでも研究が進んでおり、その効果は科学的に証明されているそうです。

<http://www.c-player.com/ac45429/message/20070810?format=time>





「火の起こし方、水の汲み方、食べ物も皆々それぞれ何処でも生きてゆけるよう、何事おきても対処できるよう致して下されよ」

「そなたが真釣り(真我につながる)に戻ったならば、物質世界の出来事は何も影響なくなるぞ。真釣りが誠の安全でござるのぞ。そなたが神界に戻れば、現界の地獄はただの絵図でござるのぞ」

放射能に負けない体を作る。だから夜更かしは絶対にしない。朝は太陽と共に起き太陽と共にお布団につく、早起き早寝が一番単純な抵抗の姿勢。—肥田舜太郎医師